【 会 議 録 （ 概 要 ） 】

実施日時： 令和7年（2025年）1月27日(月) 14時30分～16時30分

会議名	越谷市商工対策委員会 令和6年度第1回会議	実施場所	越谷市役所本庁舎8階 第二委員会室
件名/議題	【令和6年度第1回会議】 1 開会 2 会長・副会長の選出について 3 議事 ・越谷市中小企業振興計画について ・越谷市観光まちづくり推進計画について 4 閉会	会議資料： (■有 □無)	
出席者等	出席委員 (順不同) 井橋吉一委員(会長)、中島美三郎委員(副会長)、山本佳子委員(副会長)、 小櫃義徳委員、加宅田望委員、黒崎徹委員、中内啓夫委員、中村靖委員、兵頭良樹委員、 藤森正信委員、桃木利幸委員、吉田将光委員 欠席委員 なし 事務局 経済振興課長、経済振興課調整幹、経済振興課副課長、経済振興課地域産業推進室長、 事務局担当7名 傍聴人 なし		
●主な意見等			
【令和6年度第1回会議】 ・越谷市観光まちづくり推進計画で定めた目標値については、達成に向けて積極的に推進してもらいたい。 ・各計画の推進にあたっては、民間企業との連携も検討してほしい。 ・越谷市中小企業振興計画で定める創業支援については大変重要であると感じる。関係機関も巻き込み推進してほしい。			

○議長

議事について事務局より説明願う。

○事務局

越谷市中小企業振興計画で定める指標の令和5年度進捗状況、越谷市観光まちづくり推進計画で定めた指標の設定方法等を中心に説明。

○議長

ただ今の説明について、何か意見質問等はあるか。

○委員

本日、広報シティプロモーション課より水をテーマにした水遊都市伝説の発表があったが、水辺活用の観点で、越谷市観光まちづくり推進計画と関係性はあるか。

○事務局

水遊都市伝説とは、これから連携することもあると思うが、水辺の魅力向上のため、これまで実施している事業とともに推進していきたい。

○委員

越谷市観光まちづくり推進計画について、観光消費の目標値が低いのではないかと思う。物価上昇を考慮すると1割増の目標設定は相殺されてしまうのではないか。その他の数値も含め、もっと大きな目標値を掲げてもいいのではないか。積極的な推進をしてもらえるとありがたい。

また、宿泊についても低い数値となっている。例えば、水辺周辺において、水辺の魅力を最大限に活かした宿泊施設があると、宿泊だけでなく消費もより活発になるのではないか。越谷市内のイメージが大きく変わらと思う。

○事務局

目標値については、物価高騰も考慮し現状値の推移を見ていく。

宿泊施設については、宿泊施設の皆様方と連携できることもあると思うので、調整をしっかりと進めていきたい。

○委員

水辺の活用について、越谷市内の企業と連携できる点があるのではないか。事業の周知とともに、協力できる企業を募集し連携ができれば街の活性化につながるのではないか。

○事務局

大相模調節池の水辺活用については、イオンモール株式会社と連携して取り組んでいる。他の企業との連携に関しても検討していきたい。

周知に関しては、今ようやくスタートラインに立った状況なので、今後、広報紙やホームページを通じて周知をしていきたい。

○委員

イオンモール付近での渋滞や混雑が課題となっているが、東埼玉道路が令和12年頃に開通するのではないかと聞いている。開通した場合、交通環境が大きく変わり、市外からの流入が増えると予測している。例えば、周辺に道の駅のような新たな施設があれば、地域の産品を市外の方々に認知いただけるきっかけになる。中長期のプランをつくり、計画的に検討をしてもらいたい。

○事務局

東埼玉道路の延伸やその整備スケジュールにより、人の流れが大きく変わると予測される。また、道の駅のような集客施設の整備状況によっても、影響があるものと考えられる。開通の時期や整備のスケジュール等については、関係各課と情報共有し、越谷市観光まちづくり推進計画とうまくつなげられるようにしていきたい。

○委員

越谷市中小企業振興計画の説明の中で、創業についての話があったが、創業するまでの支援も大事だが、創業してからの支援が重要だと考えている。地域の関係機関と連携し、創業後も支援できる仕組みを作っていきたい。

また、創業者が一番難しく感じるところが、マーケティングやニーズ把握である。例えば、市内にはレイクタウンのような大多数のニーズを把握できるような商業施設があるので、こうした強みを活かした方がよいのではないか。

○事務局

創業してからの支援については、例えば、これまでの取り組みとして、創業塾に日本政策金融公庫の担当者にお越しいただき、融資制度のご案内をいただいている。また、当市の経営相談窓口でも、必要に応じて越谷商工会議所をご案内している。連携は重要であると認識しており、今後も関係機関との連携を強化していきたい。

ニーズ把握については、イオンモールをはじめ、市内企業の知恵も借りながら連携して支援を進めていきたい。

○委員

創業者にとって大事な部分である年金や健康保険についての説明は社労士からもできる。創業塾の開催にあたっては是非声をかけていただきたい。創業者が増えることは市内活性化につながると思うので、引き続き推進していただきたい。

本日の資料では、目標の1（創業しやすいまち）と5（未来につながるまち）がクローズアップされているが、令和7年度のクローズアップ部分は決まっているか。

○事務局

創業塾に関しては、是非お願いしたいと思う。

また、令和7年度のクローズアップ部分だが、基本的には中小企業振興計画に掲げている5つの目標

に関して全体的に進めていく。本日は時間の関係で説明を省いたが、目標の2（継ぎやすいまち）についても、主に事業承継の支援に関する項目だが、令和5年度から、日本政策金融公庫、越谷商工会議所、当市の3者で協議を始め、連携して何ができるのかなどの協議をはじめている。このように、他の目標に紐づく事業についても、既存事業は刷新をしつつ新たな施策の検討を進めるなど、時代に合わせた事業展開ができるよう計画的に進めている。

○委員

越谷市には、女性の弁護士、社労士、税理士、司法書士で構成する女性士業の会があるので、何か協力できる点があれば関わっていきたい。

○議長

今回の説明は主に水辺に関連した説明であるが、一方で、南越谷の再開発は遅れているように感じるが進捗はどうか。

○事務局

南越谷の再開発については、所管部署のもと、横断的な調整を図った上で対応することとなる。頂戴した意見については担当課へ報告させていただく。

○委員

越谷市内は住工混在の状況が続いている。南越谷の商業地域の再開発に加え、荻島地区の工業団地造成についても早期に進めていただきたい。

○事務局

貴重なご意見として担当課へ情報共有させていただく。

○議長

その他、何か意見質問等はあるか。無ければ、本日の委員会はこれで閉会とする。